

受賞者のご紹介 (敬称略)

振興賞 一般社団法人 占冠村木質バイオマス生産組合

古くはアイヌの猟場として使われていた自然豊かな村・占冠。村木でもあるイタヤカエデの樹液を使用しメープルシロップ「トペニワッカ」は作られています。

私たちがこだわったのは、100%占冠産。

樹液を手作業で集め、間伐材の薪と手作りの窯で煮詰めます。こだわって作られた「トペニワッカ」はカエデの豊かな香りと甘み、じっくり煮詰めたことで生まれる深いコクが特徴。

海外産とは違う100%占冠産の上質な味わいをご賞味ください。



開発担当 河淵 悦司
長瀬 弘侍
勇払郡占冠村字シムカプ原野 48 番 6
TEL 0167-56-7282

奨励賞 高砂酒造株式会社

2020年4月より新ブランド「蝦夷蔵梅酒 LAB. (日本酒ベースの果汁梅酒)」の取り組みを進め、北海道内各地にある地域特産品(果実や野菜)の果汁を弊社の「梅酒」に加え、攪拌し造る果実梅酒の醸造研究をスタートしました。

20種類あまりの果汁を梅酒とブレンドして、試作試飲を行った結果、【浦河町産 苺】【余市町産 林檎】【富良野市産 葡萄】を使った日本酒ベースの果汁梅酒を第1弾として2020年11月に発売、2021年9月には第2弾として【旭川市産 トマト】の蝦夷蔵梅酒 LAB. を発売いたしました。



開発担当 廣野 徹
旭川市宮下通 17 丁目右 1 号
TEL 0166-23-2251

審査委員長賞 株式会社ササキ工芸

pirkamonrayke は、ササキ工芸と日本有数の産地が協力し、日本のモノづくりの新たな可能性を提案するプロジェクトブランドです。手を取り合い、技術や素材を持ち合い、ひとつの目的に向かって切磋琢磨する。助け合うのではなく、高め合う。自らを誇れる成果を残し、互いに認め合う事の大切さを学ぶ。この出会いは今までにない驚きと価値を創出します。日本各地に在る魅力的な産地や職人が手を結ぶ時、固定観念や隔たりは取り払われ、新たな世界への扉が開かれます。その記念すべき第1弾は京都の伝統工芸との協業。旭川と京都の地域の垣根を超えた協業が新たな価値を生み出します。



開発担当 阿部 和也
旭川市永山 14 条 3 丁目 4 - 10
TEL 0166-25-2288

審査委員長賞 カワモト白衣株式会社

北海道の伝統であるアイヌ文化を取り入れながら、現代に合ったデザインのアパレル製品として開発。

アイヌ文様っぽいものではなく本物に拘り、アイヌ民族のデザイナー 貝澤珠美氏とのコラボで、ブランド「imeru」を立ち上げ。アパレル製品を通してアイヌ文化に触れ北海道文化の発信と観光振興に繋げたい。

将来的には本業の企業向けユニフォームにアイヌ文様を取り入れる展開も検討中。



開発担当 佐々木 亮一
旭川市 2 条通 13 丁目 265 番地
TEL 0166-24-5161